

# 集落営農連携で商品開発

農山漁村振興部  
雨川 公洋

国東市にある17の集落営農法人で構成する国東市集落営農法人連絡協議会では、2018年に六郷満山開山1300年を迎えるにあたり、地元住民をはじめ、県内外からの観光客に広く国東市の魅力（味力）を知ってもらうため、こだわりの米を使った商品づくりに取り組みました。

米の栽培は、良食味米の産地である糸永集落の「(農)いとなが」と志和利集落の「(農)志和利」が行い、消費者に安心して購入してもらえるよう農薬や化学肥料の使用量を慣行栽培の半分以下で栽培しました。また、収穫したお米は、「三人寄れば文殊の知恵」という言葉の発祥の地と称される文殊仙寺で合格祈願しています。さらに、御利益が逃げないように、国東半島のみで栽培される丈夫な七島藪で結んでいます。商品は、1個

650円、1300個限定で文殊仙寺などで販売しています（以下より動画がご覧いただけます。<http://www.youtube.com/watch?v=tbAG5yGk4g8>）。同協議会では、平成30年産からの生産調整の廃止に向け、集落営農法人が連携した高付加価値米の取り組みを強化していく予定です。



取組動画



商品化した祈願米

# ウーマンメイク(株)WAP100に選定！

生産流通部  
原田 ゆうき

女性の活躍推進に取り組み、経営上の成果を上げている農業経営体を表彰するWAP100（(公社)農業法人協会主催）に国東市安岐町の「ウーマンメイク(株)」が、平成30年2月に選定されました。

ウーマンメイク(株)は、構成員、社員、パートが全員女性というまさしく女性の力によって成り立っている経営体です。

代表取締役の平山亜美さんは、「農業を通じて女性が輝く社会を作りたい」という理念のもとで、経営を開始し、水耕レタスの導入、生産方式のシステム化を行いました。レタスは2つの意味（野菜そのまま・優しいままのような愛情をこめて育てた）を込めて「やさいママ」というネーミングでブランド化に取り組んでいます。

審査では、勤務形態や労働環境の整備において、柔軟な勤務時間の設定や、女性の身長に合った台の高さの調整を行うなど、女性ならではの細かい気遣いを農作業にも発揮し、魅力的な職場づくりに取り組んでいることが高く評価されました。



ウーマンメイク社員の皆さん

# 農業用ダムで小水力発電施設完成

日出水利耕地事務所  
房前 慎一

九重町松木地区で、平成24年度から地域用水環境整備事業（小水力発電）にて整備してきた小水力発電施設がこのほど完成し発電を開始しました。この発電所は、松木ダム（九重町管理委託）の落水差を利用して発電した電力を売電し、ダム施設をはじめ九重町内にある農業用施設の維持管理費に充当することにより、関係者の負担軽減を図るものです。

今回整備した小水力発電施設は、事業費3億4千7百万円、最大使用流量0.5m<sup>3</sup>/s、有効落差29m、最大発電出力49.9kWで、年間約1千万円の売電収入が



松木ダム発電所

が見込まれています。現在、県下には6箇所（稼働中）の農業用水利施設を活用した小水力発電所があります。このうち、農業用ダムの放流水を活用した小水力発電施設は、大野原発電所（豊後大野市）に続く2例目となります。中山間地域が多い大分県には、落差のある水路など発電施設の設置可能な地点が多く存在しています。

松木地区の電力の地産地消をテーマにした事業は、今後計画される発電所施設の先駆けとなることが期待されています。



発電機及び操作モニター